会山行**北大雪ニセイカウシュッペ山（１８７９ｍ）**中越コース

令和２年９月１２日

西田、A 班 L 藤木、SL 宇佐美、太田、栗山、谷、西田昌、　B 班 L 澤田、SL 宇田、笹山、小笠原、川村、及川、佐藤、　C 班 L 小山内、SL 山岸、八重樫、増川、藤木た、本野、森永

４：３０雨の岡志別公園車６台２１名出発、雨は降ったり止んだりだが青空も見えてきた。８：００国道に、８：１５林道に、道脇に車が見えると終点車２０台満車、U ターンして林道路肩に全車停車。車も人もたくさん登山中もたくさんの人とスライドすることになる、もちろん頂上もたくさんの人でした。

９：１５登山口発、頂上まで５．５km 標示あり薄雲り、薄日も時折さす１７℃前後

９月でも記録的な暑さが続いていたがやっと寒気が入り本日１０月並みの予報でしたが、頂上近くで上に羽織ったがすぐ暑くなり脱いだ。特に汗ばむこともなく、きつい登り険しいところもたいしたことなく樹林帯で泥んこも時々あったがまずは快適に歩けた。暑さのせいなのかまだ緑が多く紅葉は見られなかった。

ほぼ直線上の弱い勾配を進む１０：１０頃から低木となり右側の大雪はガスの中だが左側の展望が開けてきた大きな丸い山容の山が見えてきた。ガスの晴れ間から前方にどすんと上に突き上げる地形が見えてきた大槍です。

１１：００開けた場所に出る大雪山はガスでちょこんと上部だけ見える１１：０５あと２km の標識、やや長い急登になる左側は強い傾斜で谷に落ち谷底のきらきら輝く川の流れ、低木笹の緑、感じの良い沢筋だな。

左方の丸いピークが頂上で何人かの人が見える。１１：４５弱い傾斜になる１１：５０あと１km 標識１２：００分岐に左方に、これまで C 班は見えなかったがハイペースで来るのが見え１２：２０B 班に追いつく。

３名の方が体調不良で途中までとなり、小山内氏が付き添って下山することになりました。１２：３０頂上手前広いコルで全班合流

１２：４０広い平地の山頂着。１２～１５℃表大雪山の山並みが黒く並んでいるロープウェイ、リフトの建物が見える北側はガスで望めない

東大雪側は空一面分厚いガスに覆われ低く垂れ下がり、大雪山手前でミルクを流したようにただよい、黒い山並み、漂う白いガス、幻想的な眺めだな。

穏やかな中各自のビューポイントで昼食

登りでの大槍と後ろが山頂

１３：２０下山に１３：３０分岐に右方に直進はどこに行くのかな、展望台で見る大雪山は頂上で見るよりぐっと間近に見えガスも細くなり迫力ある山並みが見えた。
列の前後は会のベテラン女性でテント泊の知床連山縦走、冬のテント泊などの話を聞けた、２人のザックには山の厳しさ、素晴らしさ、つらかった、感激忘れえぬ思い出がきっとぎっちり詰まっているのでしょう、いいですね。
今思えばもっと早く入会していればなとしみじみ思う。それでも７０歳近くでの入会だが参加するだけだが色々な事柄を体験させてもらいました。
じじいになると睡眠の質が大切で山では気が張っているが帰ると疲れから、さわやかさわやかでないが続く、まぁ普段でもポケーとしているから同じようなものだが、
宇崎竜童の歌じゃないけれども　知らず知らずのうちに　体がなえていくのだな
いたしかたない
赤白青、花の実が見れ足が止まる。ばんばん下がり続け４人が待ってる
１５：１５登山口着。大型モトクロスバイクが颯爽と走り去っていったかっこいいな
比布町ぴっぷスキー場にある大きく立派な造りの建物の遊湯ぴっぷで、入浴会計を済ませ帰路に、途中また雨が降り出す
２１：３０岡志別公園着。長距離での車の運転された方々ご苦労さまでした。安全運転に深く感謝します。
CL、L、SL、会計の方々ありがとうございました。皆さんお疲れ様でした。

記録　佐藤